

光星本塁打口火に爆発

大湊初回満塁で無得点

▽3回戦(青森市営)
 大湊 0000
 光星学院 0000
 2010
 2100
 3x0
 81

(大) 金坂、七戸、美濃部

(七回コールド)

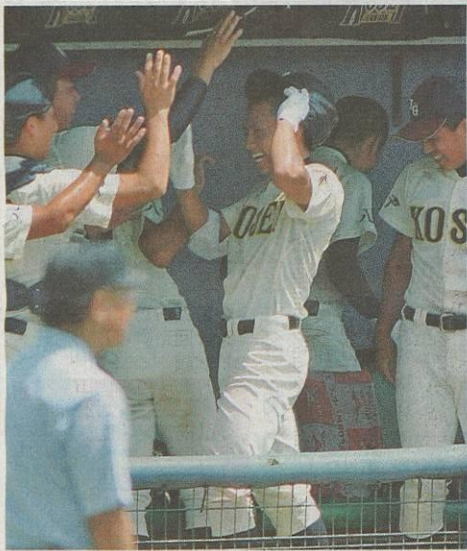
(光) 秋田、松本

▽本塁打 岸本(光)

▽二塁打 川上、田村(光)

▽ボーク 金坂(大)

▽審判 蝦名球(玉内1B)、石山光(2B)、カ石(3B)



【大湊—光星学院】4回裏、光星学院1死一塁、岸本④が先制の2点本塁打を放ちナインに笑顔で迎えられる=青森市営

【評】光星学院は四回、得点を重ね、計3安打で1死一塁から岸本の2点七回コールド勝ちした。本塁打で先制。以降毎回主戦秋田は7回を投げ、どめた。

大湊は初回、先頭美濃部の安打などで無死満塁としたが、中飛と併殺で無得点。五回に櫛引の適時打で1点をかえしたものの、好機にあと1本が出なかった。

初アーチで貢献

○：四回に試合の流れを変える2点本塁打を右翼席にたたき込んだ光星学院の岸本。高校に入ってから、練習試合を含めて初のアーチ。ここにかつ先制点が欲しいと思っ

て打った結果と喜んだ。背番号16。打撃の調子が良く、仲井監督のスタメン起用にしっかりと応えた。指揮官は「(登板した主戦秋田は)カみや気負いがあり、力任せに投げてしまうところがあつたので、あの1本は大きかった」と満足げな表情だつた。

7安打を浴びるなど精彩を欠いた秋田も「苦しいピッチングをしていたので、あのホームランはすく良かつた」と味方の援護に感謝し、「夏は一度負けたら終わり。油断しないで投げたい」と気を引き締めた。

同姓の澤に触発

○：七回にコールド勝ちを決める適時打を放つた光星学院の澤。サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」の主将と同姓とあつて、仲井監督から前夜「お前も頑張れ」と励まされ、奮起したという。「顔も似ているので周りから『親戚か』と聞かれるけど、違います」と澤。ワールドカップ決勝は青森市内の宿舎で朝練習前に見たといひ、「良い刺激を受けました」。